

南町小学校における児童との意見交換会 平成29年10月20日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>教育委員会の方々は、普段どんなことをしているのでしょうか。</p>	<p>練馬区教育委員会は、区役所で行う仕事のうち、教育と子供に関することを専門的に行っていますが、子供とは赤ちゃんから18歳の青少年までが含まれます。</p> <p>学校教育に関する仕事としては、皆さんが授業で使う教科書を教育委員で選んでいます。今年の夏は、来年度から皆さんが授業で使う「道徳」の教科書について、たくさんの教科書を読み比べて、どの教科書がよいか、話し合っただけで決めました。他にも、学校教育に関することのいろいろな話し合いをします。皆さんが元気に安全に、毎日学校で勉強したり運動したりすることができるように、校舎の建て直しやエアコンやトイレなどの設備を整えることも教育委員会で責任を持ってやっています。</p> <p>皆さんが学校でいじめや事故にあうことがないように過ごせるようにするにはどうしたらよいか、ここにいる教育長と4人の委員で話し合うことが教育委員会の大きな仕事です。また放課後の居場所に関することも教育委員会でやっています。</p> <p>ここにいる5人のほかに、教育委員会事務局には300人くらいの職員がいます。こういった事務的な仕事を行う職員がさまざまな仕事をしています。</p>
2	<p>なぜ、移動教室は5・6年生だけなのでしょう。また、なぜ、年1回しかないのでしょうか。</p>	<p>練馬区はたくさんの学校があるので、すべての学校が移動教室に順番に行くことができるのは、年1回だけになります。毎日遠足だったらよいな、毎学期、移動教室に行けたらよいなと思うかもしれませんが、それはできません。軽井沢、下田のほかに岩井や武石もあります。そういった場所で、普段の学校生活では味わえないことをたくさん経験することができます。</p>
3	<p>もう少し机を大きくしてもらうことはできないのでしょうか。資料集など置くものが多い困っています。</p>	<p>人数が少ないクラスもありましたが、人数が多いクラスの場合は40人なので、教室の大きさも決まっている中で、机を大きくすることはなかなか難しいと思います。机を大きくして勉強しやすい環境を作りたいと考えていますが、これからの検討の課題です。</p> <p>学校では、古くなった学校の建て替えや授業で使用する楽器の購入など、たくさんお金がかかります。でも、練馬区のお金には限度がありますので、どこにお金をかけたらか優先する順番などを考えながら検討しています。また、机を大きくすると教室が狭くなり、逆に少し危ないのかなと思うところもあります。</p> <p>すぐにできることではありませんので、当面は机の中を整理するなど、皆さんに工夫していただきながら、総合的に考えて対応していきたいと思っています。</p>
4	<p>教科書だけでなく、iPadやタブレットで学習することはできないのでしょうか。</p>	<p>今、タブレットやコンピュータなど学校に導入されているところがあると思いますが、それらはICT機器と呼ばれています。ほかの区でもタブレットなどを導入して授業をしている学校がありますが、これからそういったものを学校で使えるようにするためには、インターネットができる環境の整備が必要です。区でも、できるだけ皆さんが授業しやすい環境をつくらうと、その整備を進めているところです。今年度は、まずは小学校4校、中学校2校をモデル校として選び、実際に児童・生徒の皆さんに機器を使用してもらいながら、わかりやすい授業にしていくためには、どうしたらよいか研究しています。この研究を活かして、いずれ全小・中学校で使えるようにしたいと計画しています。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
5	教科書で黒板を使うのはなぜでしょうか。ホワイトボードの方が、粉が出ずによいのではないのでしょうか。	<p>学校で黒板を使っている1番の理由としては、黒板の深緑色は、目が疲れにくく、文字が見やすいということがあります。</p> <p>ホワイトボードは、粉が飛び散らなくて良いという点がありますが、光が反射したり、大きさも黒板に比べるとあまり大きくありません。また、白は長い時間見ていると、とても目が疲れるそうです。しかし、ほこりが出ると困るような家庭科室ではホワイトボードを使っていますし、自由に動かせるという便利な面もあるので、今日授業を見た中では、音楽室などでも使われていました。</p> <p>黒板は表面を張り替えることができますし、汚れても清掃すればきれいに長く使えるため、各学校で広く使われています。</p>
6	小学校ではランドセルをしょって登下校しますが、なぜでしょうか。	<p>他の荷物があった場合には、荷物を手に持って登校する子もいるかもしれませんが、基本的にはランドセルを背負っていれば荷物が運べ、両手が空くので、転んでも手をつくことができたり、何かにつかまったりすることができます。両手がふさがっていると危ないので、安全を考えたときに両手が空いているのはとても便利です。</p> <p>ほとんどの人が1年生から6年生まで、6年間ランドセルを使い続けると思います。日本のランドセルはどれも丈夫にできていますので、何度も買い替えなくて良いということから、自然に使われるようになったと考えられています。</p>
7	歯の健康のために、キシリトールガムを食後にかむとよいことを教わりました。給食にガムをつけてもらうことはできないのでしょうか。	<p>学校では、健康な良い歯でいられるように、身体全体が丈夫になるため、栄養士の方が皆さんの健康を考えたおいしい給食が提供されています。そして、大切なのはよく噛むことです。唾液を出すことで虫歯を防いでいるのです。</p> <p>学校の給食にキシリトールガムをつけて欲しいということですが、ガムの効果が発揮されるには、味がしなくなっても20分くらい噛み続けないと効果が出てこないようですので、これを学校生活で行うのは難しいです。</p> <p>一番良いことは食後に歯を磨くことですが、無理なときは口をすすいでください。すすぐだけでも、口の中の食べかす等を取り払うことができます。</p>
8	南町小学校の体育館にエアコンをつけてもらうことはできないのでしょうか。	<p>平成20年度に全ての区立小・中学校の普通教室にエアコンを設置することができました。また、平成26年度には、全ての区立小・中学校の特別教室と給食室にもエアコンを設置することができて、快適な環境の中で学習できていると思います。</p> <p>体育館については地域の避難拠点にもなっていますので、練馬区でも体育館を良い環境にしていきたいと思っており、今、小・中学校の体育館にエアコンを設置することができないか、検討を進めているところです。</p> <p>教室と違って体育館は広いので、温めるにも冷やすにも、設備に莫大な費用がかかります。他の区で、体育館に空調設備があるところを見学したり、どのように問題解決したらよいかを研究しています。</p>
9	なぜ中学校では、部活が盛んなのに、小学校では盛んではないのでしょうか。	<p>中学校では授業の時間外に、興味があることやスポーツなどを行って盛んに部活動が行われています。似たような活動で、4年生以上ではクラブ活動があると思います。クラブ活動は授業時間の中で同じように自分が興味があるもの、やってみたいと思うことに取り組んでやっていると思います。</p> <p>小学校では授業が終わったあとにさらに活動することは、皆さんの体力や勉強に取り組むことを考えると難しいので、中学生になったら、ぜひ思い切り部活動に参加して、自分のやりたいこと、夢を実現してほしいと思います。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
10	<p>中学校ではジャージがあるのに、小学校にジャージがないのはなぜですか。</p>	<p>中学生になると「標準服」がありますが、それ以外は何もありません。体育の時などは制服で活動することは難しいので、そういった場合に体操服のほかにジャージを着ることになります。</p> <p>小学校では皆さん私服なので、あえてジャージを用意する必要はありません。動きやすい恰好で、また、寒いときには温かい恰好で学校に来てもらえれば良いので、小学校で用意はしていません。</p>